



□欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	(仮称)ドームイン御殿場計画	BEE	1.1	BEEランク	B+	★★★

2. 重点項目への取組み度					
重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価		
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	2.6	/5	がんばろう		
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.9	/5	がんばろう		
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	1.5	/5	がんばろう		
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	3.0	/5	ふつう		
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目			
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。					
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)		得点		2.6	
■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ①共用窓SC=0.89窓U=2.90外壁U=0.88屋根U=0.55 宿泊窓SC=0.89窓U=2.90外壁U=0.87屋根U=0.57 ④床タイルカーペット20年、壁ビニルクロス貼20年、天井ビニルクロス貼30年 ④給水汚水雑排水管の主要用途2種以上についてC以上	Q-1	2	2.1	2.1.2	① 外皮性能
	Q-1	3	3.1	3.1.3	② 昼光利用設備
	Q-2	2	2.2	2.2.1	③ 昼光制御
	Q-2	2	2.2	2.2.4	④ 躯体材料の耐用年数
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3	1			⑤ 生物環境の保全と創出
■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)	LR-1	1			⑦ 建物外皮の熱負荷抑制
⑦BPI=0.85		2			⑧ 自然エネルギー利用
⑨BEI=0.77		3			⑨ 設備システムの高効率化
■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)	LR-2	1	1.1		⑪ 節水
⑫タイル:外壁、断熱材:天井、フリアクセスフロア:床			1.2	1.2.1	⑫ 雨水利用システム導入の有無
⑬内装が乾式工法で分別性に配慮、OA707採用				1.2.2	⑬ 雑排水等利用システム導入の有無
⑬発泡断熱材はノンフロン製品を採用		2	2.1	2.1.1	⑭ 材料使用量の削減
				2.1.2	⑮ 既存建築躯体等の継続使用
				2.1.3	⑯ 躯体材料におけるリサイクル材の使用
				2.1.4	⑰ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用
				2.1.5	⑱ 持続可能な森林から産出された木材
				2.1.6	⑲ 部材の再利用可能性向上への取組み
		3	3.1		⑳ 有害物質を含まない材料の使用
				3.2	㉑ 消火剤
				3.2.2	㉒ 断熱材
				3.2.3	㉓ 冷媒
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)	LR-3	1			⑭ 地球温暖化への配慮
⑭消費エネルギー量削減により運用時のLCCO2排出量低減に配慮		2	2.2		⑮ 温熱環境悪化の改善
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)		得点		2.9	
■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯ 耐震性
				2.1.2	⑯ 免震・制振性能
			2.4	2.4.1	⑰ 空調・換気設備
				2.4.2	⑰ 給排水・衛生設備
				2.4.3	⑰ 電気設備
				2.4.4	⑰ 機械・配管支持方法
			2.4.5	⑰ 通信・情報設備	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)		得点		1.5	
■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画
		3	3.1	3.1.1	⑲ 階高のゆとり
				3.1.2	⑲ 空間の形状・自由さ
■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)	Q-3	3	3.1		㉑ 地域性への配慮、快適性の向上
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)		得点		3.0	
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3	1			⑤ 生物環境の保全と創出
		2			㉒ まちなみ景観への配慮
		3	3.2		
■敷地外環境対策 (⑮温熱環境悪化の改善)	LR-3	2	2.2		⑮ 温熱環境悪化の改善

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ドミーイン御殿場計画	階数	地上5F
建設地	静岡県御殿場市東田中字向道出1505番3他	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域、法第22条区域	平均居住人員	350 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル、工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2021年1月5日
敷地面積	3,895 m ²	作成者	株式会社現代総合設計
建築面積	2,476 m ²	確認日	-
延床面積	6,362 m ²	確認者	-



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.1 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 100% ②建築物の取組み 81% ③上記+②以外の 81% ④上記+ 81%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.9</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.4</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.8</p>

LR 環境負荷低減性		
<p>LRのスコア = 3.3</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.4</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合 CASBEE静岡2016年版による評価。 可能な限り多くの植栽帯を設け、敷地の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行うなど環境に配慮している。</p>		<p>その他</p>
<p>Q1 室内環境 F☆☆☆☆建材を全面的に採用するなど、空気質環境にも十分配慮している。</p>	<p>Q2 サービス性能 補修必要間隔の長い仕上材、配管材を採用するなど、建物の耐用性・信頼性に配慮している。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) 空地率を大きくし、また、中高木を植栽することにより敷地内温熱環境の向上に努めている。</p>
<p>LR1 エネルギー LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル OAフロアを採用するなど、部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。</p>	<p>LR3 敷地外環境 充電レンタル自転車を採用、敷地内に宿泊客用駐車場と荷捌き用駐車場を配置、導入路を長くするなど、交通負荷抑制に配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される